



2025 7月15日発行

編集・発行 一般社団法人静岡県設備協会
会長 柴 敦司 / 広報委員会
静岡市駿河区南町3-20-501
TEL (054) 282-6618 FAX (054) 287-0415
E-mail ; s-setubi@io.ocn.ne.jp
http://s-setubi.sakura.ne.jp
印刷 大日三協株式会社

静岡県財務部 稲垣参事「就任のご挨拶」	P2
令和7年度 第13回定時総会の概要・会員顕彰	P3
情 報 コ ラ ム	P4～5
令和7年度設備協会事業計画・協会だより	P6～7
編集後記／表紙の写真について	P8



雲見漁港（くもみぎょこう）と烏帽子山（えぼしやま）

**設備（電気・給排水衛生・空調）は
分離発注で設備専門業者に**





就 任 の ご 挨 拶

静岡県財務部 参事(営繕担当)

稲 垣 勝 美

本年4月に財務部参事(営繕担当)に就任いたしました。一般社団法人静岡県設備協会の皆様には、日頃より、本県の営繕行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。また、建築設備工事における安全かつ適切な施工、そして建築設備業界の発展に御尽力されていることに、改めて敬意を表します。

県の営繕行政におきましては、令和7年度に、交通基盤部から財務部へと組織改編がされましたが、本県では、「県民幸福度日本一」に向けて、県民一人一人が暮らしやすさと幸福感(ウェルビーイング)が実感できる県づくりを目指しており、地域の特性を生かしながら県全体の発展に向けて、皆様と一緒に様々な取組を実施してまいりたいと考えております。

「建築設備」は、庁舎や学校などの公共施設、マンション、ショッピングモール、駅ターミナルなど、私たちが利用する全ての施設に必ず存在し、社会の基盤を支え、人々が安全かつ快適に利用するために大切な技術です。目に見える照明や空調から、建物の中を張り巡らされる給排水管や電気配線、それらを監視・制御する設備などは、貴協会ホームページにも掲載されておりますが、人間の体に例えて表現した場合、「建築」は人間の顔や皮膚、筋肉や骨格、そして「建築設備」は人間を動かす頭脳や内臓や血管のようなものと言えます。

高度経済成長期に建築された多くの建築物が、築後50年を超えて、老朽化が進み、一斉に建替の時期を迎え、都市部を中心として建設プロジェクトが拡大しております。それに伴い、給排水管の更新や空調システムの交換など、多岐にわたる設備の更新が求められております。今後、建築設備業界は、忙

しい時期を迎えるとともに、貴協会の役割は、ますます重要になってまいります。更なる発展をしていくためには、いくつかの課題もあります。

最大の課題は、人口減少、少子高齢化による、人手不足、若手の人材確保です。建築設備工事は、今後、多くの需要が予想される一方で、建築設備業界について、その存在を知らない若者が多くいるといった現実があり、魅力的な職場環境の整備が急務となっております。また、我が国の気温は年々上昇しており、建築物の省エネ化に向けてエネルギーの効率化も喫緊の課題となっております。

このような中、手作業が主流であった作業も、近年は自動化やロボットの力を借りて、安全かつ効率的に行われるようになっており、また、3Dモデリングを用いた設計により、施工前に詳細なシミュレーションを行うことも可能となっております。さらに、設備の各部にセンサーを取り付け、リアルタイムでデータを収集・解析することで、早期に故障の予兆を発見し、未然にトラブルを防ぐなど、維持管理の効率化に向けたIoT技術の導入も進められております。

より良い設備を設計・生産・施工するためには、日々努力を続けていく必要があります。若者にとって働きやすい、魅力的な職場となるよう、建築設備工事における安全性の向上と作業の効率化を図るとともに、最新の設備技術の積極的な活用により、地球温暖化対策に寄与し、建築設備業界の更なる発展を進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きの御支援と御協力をお願いいたします。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、就任の御挨拶とさせていただきます。

令和 7 年度 第 13 回 定時総会

第 7 回定時総会が、5 月 21 日（水）、ホテルアソシア静岡において多数の会員のご出席のもと開催されました。

当日は会員に加え、来賓として当協会顧問である天野一県会議議員、竹内良訓県会議議員、ならびに静岡県財務部設備課 課長 久保池一博氏をはじめ、多数のご来賓をお迎えしました。

総会は藤原政夫氏の司会により進行し、山本英明副会長の開会の言葉、続いて柴敦司会長より会員の皆様へご挨拶がありました。その後、榛葉秀聡議長のもと、以下の議案がすべて承認されました。

＜決議事項＞ 第 1 号議案 令和 6 年度 事業報告について
第 2 号議案 令和 6 年度 決算（案）の承認について
第 3 号議案 令和 7 年度 会費の賦課額と徴収方法について
報告 1 令和 7 年度 事業計画及び収支予算について

また、令和 6 年度優秀施工者国土交通大臣表彰、優秀施工者知事表彰、静岡県交通基盤部長表彰、静岡県交通基盤部建築管理局長表彰を受賞した会員への表彰授与式も開催され、その卓越した功績が称えられました。



情 報 コ ラ ム

「 島 田 大 祭 」

広報委員 高橋電気工業株式会社
高橋 義博

島田市には日本三大奇祭である『島田大祭』通称「帯まつり」があります。
1695年から続いている3年に一度のお祭りで、今年はその開催年。
令和7年10月11日(土)～13日(月祝)の3日間で開催されます。



島田市の駅前通り「本通り」を中心に、1丁目～7丁目の周辺地域までを一街（いちがい）～七街（なながい）として、各街で屋台や地踊りなどを披露し合います。お祭りの準備から当日の進行をそれぞれ街独自の役割を担い、伝統的なお祭りを代々守っているのです。

もともと『島田大祭』は「大井神社大祭」と言われていたらしく、島田市の地の神様「大井神社」のお祭りでした。市民の人たちにも参加して欲しいという想いから、『島田

大祭』と名を変えたそうですが、大祭の始まりと終わりは全街が大井神社に集まり奉納する精神は、今も受け継がれています。

かつてはその地域の住民・親族しか参加できなかったお祭りが、昨今は少子化・若い世代不足の影響もあり、本通住民の知人・友人も参加できるようになっているとのこと。大祭の数か月前から地踊りの練習等が各地域で開催され、夜になるとあちこちから地踊りの練習音が聞こえて来たり、各街の寄り合い所から賑やかな声やお酒の香りが漂ってくると、大祭に向けてテンションが上がってくるとか来ないとか。



そんな『島田大祭』が「奇祭」と呼ばれる所以が、少し風変りな大名行列が見られること。拍子木を先頭に鉄砲隊や大奴、大鳥毛、赫熊、殿様などが通りを練り歩くものですが、この大奴（おおやっこ）がふんどし姿で、左右に差した太刀に帯を吊るしている様子がなんとも怪しげ…いや壮観な雰囲気醸し出しています。



なぜ帯を吊るしているのか？ それは、その昔島田に嫁入りをすると大井神社参拝後に嫁入りの丸帯を持って街中に挨拶回りをする風習があったところに由来します。帯の重さや親族の気苦労、嫁いで来た新婦には酷だろうと、安産の守り神として信仰のあった大井神社の御神輿の大奴の大太刀に帯を下げて披露するようになったそうです。このような女性に優しい島田の特性が、今の島田市に元気な女性が多い基礎を築いたのかもしれませんがね。（現島田市長は全国でも数少ない女性市長です）

ちなみにこの大奴の所作は、足の上げ方（高さ）や指先の動きにいたるまで厳格に今に伝わっており、島田帯祭の大名行列は静岡県指定無形民俗文化財に指定されています。この動きを少し真似してみるだけでも大変。帯の重さと合わせ、かなりの体力が必要なことがわかります。大奴にはなれませんが、大井神社には大奴や鹿島踊りのブロンズ像や、顔はめパネルが設置されていますので、そちらで記念写真を撮られることをおすすめします。



今年で111回を迎える『島田大祭』。大名行列をはじめ、各街の地踊りや屋台廻しの時間等タイムスケジュールがあります。詳しくは島田市のホームページや公式サイトをご覧ください、タイムスリップしたような気分でお祭りをお楽しみに頂けたら嬉しいです。

令和7年度 設備協会の事業計画

第13回定時総会にて、本年度の事業計画が承認されました。

1. 分離発注推進活動事業

地元中小企業者の受注機会確保のため、設備工事の分離発注については、従来から国・県・市町等公共団体をはじめ、協同組合、独立行政法人県立病院機構、設計事務所等への要請に努めているが、これを確固たるものにするために引続き要請活動を行う。特に公共工事の動向を迅速に把握し、事前に対応できる体制の整備を図り、地域雇用及び地域経済活性化につなげるため、積極的な活動を展開する。

2. 設備工事技術研修に関する事業

建築設備業の技術の向上と業務の健全な発展を図り、設備工事の安全かつ適正な施工を確保し、県民生活の保安と公共の福祉向上に寄与するための研修会、及び法令改正等に伴う講習会、若手の更なる飛躍を応援するスキルアップ講習会を開催し遵守に努める。

3. 施工現場の安全衛生に関する事業

施工現場の事故防止と安全衛生管理の徹底を図るため、県内の静岡県発注工事現場において、安全衛生パトロールを実施する。

4. 広報誌「設備しずおか」発行と協会ホームページの維持管理事業

広報誌、協会ホームページ及びメールニュースにより、建設業に関する各種法令の改正、当協会の活動状況、静岡県との意見交換会議事など、設備工事に関する有益な情報を会員及び工事の発注機関などに提供し、設備工事の重要性などをPRする。

5. 会員の表彰・顕彰及び公共機関・関連団体との情報交換等に関する事業

静岡県発注工事において、優秀な成績を収めた現場技術者を協会として表彰するとともに、国土交通大臣表彰や知事表彰及び県発注工事の優秀事業者等の表彰を受賞した協会員を顕彰することにより、協会員及び技術者の意欲向上を図る。

また、一般社団法人静岡県建設団体連合会等の協議会や事業に参加協力し、相互の情報交換を行うと共に会員への指導連絡業務並びに事業活動の支援を行う。

6. 社会奉仕（ボランティア）活動事業

建設業界の社会的信頼と評価を高め、街づくり及び安全な生活環境を守るため、県下3箇所の国道事務所と交わした協定書による社会奉仕(ボランティア)活動を、会員及びその社員により展開する。

協会だより

役員会の開催状況

第1回 令和7年4月15日(火)

於 パルシェ会議室

〔議題および報告内容〕

- (1) 令和6年度事業報告及び「財務諸表及び収支計算書」の承認について（監査報告）
- (2) 令和7年度事業計画及び収支予算書（案）について
- (3) 会員の表彰及び顕彰について
- (4) 第13回定時総会の運営について

第2回 令和7年5月21日(水)

於 ホテルアソシア静岡

〔議題および報告内容〕

- (1) 第13回定時総会の提出議案について
- (2) 第13回定時総会の運営について

第3回 令和7年6月18日(水)

於 パルシェ会議室

〔議題および報告内容〕

- (1) 令和7年度事業の推進について
顧問県議と県との意見交換会について
- (2) 各委員会の活動について

委員会の開催状況

第1回 総務委員会

令和7年6月18日(水)

- (1) 令和7年度委員会事業計画について
 - ① 分離発注推進活動について
 - ② 県議及び県との意見交換会について
 - ③ ボランティア活動について
 - ④ 会員の従業員表彰について
 - ⑤ 県工事優秀監督者表彰について

第1回事業・研修委員会

令和7年7月1日(火)

- (1) 令和7年度委員会事業計画について
 - ① 設備工事技術研修会の実施について
 - ② 労働災害防止（施工現場の安全衛生パトロール）の実施について
 - ③ ふじのくに i-Construction 推進支援協議会への参加協力について
 - ④ スキルアップ講習会の実施について

第1回 広報委員会

令和7年6月4日(水)

- (1) 令和7年度 年間スケジュールについて
- (2) 「設備しずおか」7月号の編集について

令和8年度 第14回定時総会 は下記日程で予定されております。

開催日時	令和8年5月28日(木)
会場	ホテルアソシア静岡

◆◇◆◇ 編集後記 ◆◇◆◇

2025年の梅雨は雨が少なく既に夏が来たような陽気でした。6月から熱中症対策が義務化され改めて暑さへの対応が重要になっています。最近では冷却ファンが付いたジャケットなどを着用する方もかなり増えてきました。以前は扇風機だけだった休憩小屋もエアコンが完備され冷水機が設置されている所も多くなっています。周囲の暑さ対策が整備されてきてもやはり重要なのは自分自身の体調管理だと思います。自分でも感じるのが睡眠不足による体調への影響です。あとはお酒の飲み過ぎもかなり影響があると思います。夏の間は平日のお酒を控えて休日前の夜だけを飲酒日として平日はお酒を飲まずに早く寝ましょう！自分への戒めとして編集後記を書いてみました。仕事は無理せずご安全に！

広報委員 株式会社大石設備 大石将勝

令和7年度社会奉仕（ボランティア）活動

東部地区 9月8日(月)実施予定・2月(日程未定)
中部地区 6月24日(火)実施・10月(日程未定)
西部地区 10月・2月(日程未定)

会員の皆様のご協力をお願い致します。

参加募集案内は、活動予定日1ヶ月前程度にFAXします。

—表紙の写真— 雲見漁港（くもみぎょこう） 賀茂郡松崎町雲見

雲見漁港は、漁港種別第1種の指定漁港として西伊豆雲見エリアにある小さな港だが訪れる釣り人は多い。西にある波止や東にある地磯から釣りができ、雲見沖磯のメイン釣り場は港の南側、伊浜方面である。伊浜との境界にあるのがカンノン島。そこから北に長ッ先、小鼻、シンヤ、イガミ、サバ島といった名礁がある。雲見漁港から沖へ航行約10分の千貫門（せんがんもん）周辺では、水深が一気に20m以上落ち込む釣り場で大型マダイが食ってくることも珍しくない。メジナやマダイだけでなく、時に手も足も出ないような大型魚が当たる（ANA Inspiration of JAPAN）

烏帽子山は、標高160メートルを越える高さにそびえる火山の根です。海から急傾斜で立ち上がる烏帽子山の姿は大迫力です。山頂の雲見浅間神社へ続く歩道もあり、山頂からは伊豆西南海岸や富士山、駿河湾の絶景を楽しむことができます。（YAMAP / ヤマップ）



撮影 株式会社朋電舎 常務取締役 向島洋一郎